

# 精神医学：神経症、ストレス関連障害

41-098 外傷後ストレス障害 (PTSD) で誤っているのはどれか。

1. 外傷体験後 6 ヶ月以上の潜伏期間を経て発症する。
2. 発症は個人の主観的反応の強さに影響される。
3. 自律神経の過覚醒状態を呈する。
4. 外傷的出来事に遭遇した現場を避けて通る。
5. 外傷的出来事の夢を繰り返し見る。

## 外傷後ストレス障害

死に直面したり、重症を負うような出来事(外傷)後、数週～6ヶ月以内の潜伏期を経て発症する。

(症状)

- ・外傷のフラッシュバック
- ・感情鈍化
- ・アンハドニア(通常楽しいと思えるようなことか楽しくない)
- ・過敏性、過覚醒

42-099 転換性障害で正しいのはどれか。

1. 身体症状がある。運動マヒ、感覚マヒ、けいれん発作など
2. 脳波異常がある。はい。
3. 死の恐怖を伴うのはパニック発作である。
4. 作為体験の一種である。はい。統合失調症で見られる。
5. フラッシュバックがある。はい。PTSDで見られる。

## 転換性障害

- ・運動麻痺(失失、失歩、失声)
- ・感覚障害
- ・けいれん発作
- ・神経学的症状や脳波の異常はない。

43-097 厳粛な場所で「バカヤロー」と叫んでしまわないか、繰り返し気にしている患者の病態はどれか。

1. 広場恐怖 .. 公共に逃げ出せはじょうな雑踏や電車の中などの恐怖
2. 社会恐怖 .. 人前で注目されることへの恐怖(対人恐怖)
3. 解離性障害
4. 身体化障害
5. 強迫性障害

## 解離性障害

- ・健忘
- ・遁走
- ・昏迷
- ・多重人格

43-098 外傷後ストレス障害(PTSD)の症状で誤っているのはどれか。

1. 思考途絶 .. 突然考えていることがなくなる状態、統合失調症で見られる。
2. 知覚過敏
3. 集中困難
4. 不安焦燥
5. 睡眠障害

## 強迫性神経症

- ・強迫行為  
自分でモバカバカしいと思いつても実行しないと気がすまない行為  
「必ず右足からズボンをはく」など
- ・強迫思考  
自分でモバカバカしいと思いつている考えが頭に浮かぶ  
「鍵をかけたか気になる」など
- ・不潔恐怖  
手と何度モ洗わないと気がすまない。ドアノブを触らない

44-099 人前で発言することを恐れ、それを回避する場合に可能性が高いのはどれか。

1. 適応障害 .. ストレスに適応するまでの間にある症状。転校や両親の離婚等による夜尿症になるなど。
2. 解離性障害
3. 強迫性障害
4. 社会恐怖症
5. 広場恐怖症

## 身体化障害(身体表現性障害)

身体疾患がないのにモカカカ分痛み、胃腸症状、頭痛などが数年以上くり返されるもの。

46-A-099 パニック発作に関して正しいのはどれか。

1. 健忘を残す。はい。
2. 予期不安がある。
3. 転換症状である。はい。転換性障害でおこる。
4. 脳波で棘徐波を認める。はい。てんかんで認める。
5. フラッシュバックを伴うのは、PTSDである。

## パニック発作

いつおこるか分からない予期できない発作。通常30分以内。死んでしまうかモれないという強い恐怖、動悸息苦しさ強い不安、予期不安、広場恐怖を伴う。

47-P-098 PTSD (外傷後ストレス障害) について誤っているのはどれか。

1. アンヘドニアがみられる。アンヘドニア: 快感の喪失 → 通常楽しいと思えることが、もう思えなくなる。
2. アルコール乱用の要因となる。
3. 小さな物音にも敏感に反応する。
4. 症状は外傷後 1か月以内に改善する。数週〜6ヶ月以内の潜伏期を経て発症する。外傷後からおこり1ヶ月以内に改善するのは、急性ストレス反応である。
5. 原因となる出来事は、ほとんど誰にでも大きな苦悩を引き起こす。

災害、激しい事故、テロ、レイプ etc

48-A-098 雑踏の中で強い不安が生じ、その場所を避けるようになるのはどれか。

1. 適応障害
2. 解離性障害
3. 強迫性障害
4. 広場恐怖症
5. 社交恐怖症

49-A-099 神経症性障害について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 全般性不安障害では疾病利得がみられる。はい。疾病利得とは病気であることにより、周りから優しくされる、気遣われるといったような状態のことである。
2. 強迫行為では不合理と思いつつも繰り返し手を洗う。
3. 離人症では自分がとても重い病気ではないかと心配する。
4. 社交恐怖では自分が見捨てられるのではないかと心配する。
5. 予期不安ではパニック発作がまた起きるのではないかと心配する。

心気症

境界性パーソナリティ障害

全般性不安障害は日常の様々なことが不安や緊張を引き起こす要因となり、常に肩こりや頭痛などを訴える疾患である。周囲からの理解が得られにくいため、疾病利得はみられやすい。

49-P-099 PTSD(外傷後ストレス障害)について誤っているのはどれか。

1. 過覚醒がみられる。
2. アルコール乱用の要因となる。
3. 小さな物音にも敏感に反応する。
4. 症状は外傷後 1か月以内に改善する。数週〜6ヶ月以内の潜伏期を経て発症する。
5. 原因となる出来事は、ほとんど誰にでも大きな苦悩を引き起こす。

← 耐えられるように慣らす行動療法である。

50-A-099 強迫性障害について誤っているのはどれか。

1. 曝露反応妨害法が用いられる。曝露反応妨害法(エクスポージャー法)は、強迫行為がおこる場面イメージ、
2. 強迫行為はさせられ体験による。させられ体験は自我の障害で統合失調症で見られる。
3. 対称性へのこだわりがみられる。
4. 不合理な観念が繰り返し浮かぶ。
5. 選択的セロトニン再取り込阻害薬が用いられる。

→ 強迫行為は、強かんでくる強迫思考を解消するためにおこる行為である。  
手を洗わないで汚い → 手を洗う。